

日本概况

[日]金津日出美 [日]桂岛宣弘 亚洲日本研究组 著
卢茂君 李蕊 [日]伊藤孝雄 李君怡 译



大连理工大学出版社
Dalian University of Technology Press

中央高... 页资金资助

日本概况

[日] 金津日出美 [日] 桂岛宣弘 亚洲日本研究组 著
卢茂君 李蕊 [日] 伊藤孝雄 李君怡 译



大连理工大学出版社
Dalian University of Technology Press

『留学生のための日本事情入門』

金津日出美, 桂岛宣弘, 亚洲日本研究组著

RYUUGAKUSEI NO TAMENO NIHON JIJOU NYUUMON

© NOBUHIRO KATSURAJIMA, HIDEMI KANAZU 2005

All rights reserved.

This edition is published by arrangement with BUNRIKAKU Publishing, Kyoto.

The original Japanese edition published by BUNRIKAKU Publishing.

著作权合同登记号:06-2016年第75号

版权所有·侵权必究

图书在版编目(CIP)数据

日本概况:汉、日/(日)金津日出美,(日)桂岛宣弘,亚洲日本研究组著;卢茂君等译. — 大连:大连理工大学出版社,2018.3

ISBN 978-7-5685-1311-1

I. ①日… II. ①金… ②桂… ③亚… ④卢… III. ①日语—高等学校—教材②日本—概况 IV. ①H369.4:K

中国版本图书馆CIP数据核字(2018)第015387号

出版发行:大连理工大学出版社有限公司

(地址:大连市软件园路80号 邮编:116023)

印刷:大连住友彩色印刷有限公司

幅面尺寸:185mm×260mm

印张:15.5

字数:370千字

出版时间:2018年3月第1版

印刷时间:2018年3月第1次印刷

责任编辑:邱丰

封面设计:洪震彪

责任校对:唐纯宇

ISBN 978-7-5685-1311-1

定价:68.00元

发行:0411-84708842

邮购:0411-84708943

传真:0411-84701466

E-mail:dutp@dutp.cn

URL:http://dutp.dlut.edu.cn

本书如有印装质量问题,请与我社发行部联系更换。

はじめに

本書の初版本が刊行されたのは、2005年4月のことである。日本への留学生が急増した時期にあたっており、その切実なニーズに応える「日本事情」のテキストとして初版本は刊行されたのであった。当時の3～4年生だった日本人学生と数多くの留学生が話し合いを行い、何度も推敲を重ねて作成されたのが本書初版本の最大の特質であった。

幸いなことに本書初版本は大変な好評を博し、多くの大学のテキストとして採用されるに至った。さらに韓国語版（多楽園）、中国語版（大連理工大学出版社）も刊行されることとなった。著者としては大変名誉なことであると思っている。

もっとも、既に十余年を経たにも拘わらず、今もそのまま好評を博していることは、最新の「日本事情」テキストとしては問題があるのではないかという思いを募らせることにもなった。とりわけ、この間に、日本では民主党への政権交替や、東日本大震災などの看過しえない出来事が起こった。また、改訂作業を行う過程で、格差の拡大、高齢社会の本格的到来など日本社会に深刻な変化が起こっていることにも気づかされた。今次の改訂本は、データを2017年にふさわしいものに更新したことに加え、こうした事情・事態を可能な限り反映させるように努めた。無論、生活・慣習・年中行事など、初版本と大きな変化のない内容もある。それらは基本的に改訂する必要がないと判断したことに加え、何よりも初版本が有していた学生・留学生の合作という特質を損なわないようにしたいという配慮も働いている。大方のご理解をいただければ幸いである。

なお、本書は高麗大学校で長い間教鞭を執った金津日出美が韓国、中国での大学事情も考慮して改訂をリードし、立命館大学の桂島宣弘が最終的な監修を行った。本書も、初版本同様に最良の「日本事情」テキストとして活用されるならば、著者としてこれに勝る喜びはない。

金津日出美・桂島宣弘

2017年1月2日

目次

1	にほんご にちじょうひょうげん 日本語の日常表現	1
2	せいかつ じじょう 生活事情	6
3	こうつう じじょう 交通事情	13
4	りゅうがくせい ほうりつ ち しき 留学生のための法律知識	18
5	にほんじん しょくせいかつ 日本人の食生活	21
6	にほん はる なつ 日本の春・夏	29
7	にほん あき ふゆ 日本の秋・冬	37
8	きょうと あんない 京都案内	48
9	にほん まつ 日本の祭り	53
10	にほん めいしょ 日本の名所	58
11	にほん げいのう 日本の芸能	63
12	にほん げいどう 日本の芸道	67
13	にほん だいがく 日本の大学	72
14	だいがく よねんかん 大学の四年間	77
15	にほん きょういく 日本の教育	82

16	げんだい にほん せかい 現代日本と世界とのつながり	87
17	げんだい にほん おんがく えいが しじょう 現代日本の音楽・映画事情	92
18	げんだい にほん たいしゅう ごらく 現代日本の大衆娯楽	96
19	げんだい にほん かぞく 現代日本の家族	100
20	げんだい にほん わかもぶん か 現代日本の若者文化	106
21	はたら ひとびと しょもんだい 働く人々の諸問題	112
22	にほん こくど しげん じんこう とくさんひん 日本の国土・資源・人口・特産品	116
23	にほん せいじ けいざい 日本の政治と経済	122
24	にほん 日本のあゆみ	127
25	しゅうきょう 宗教	132
26	にほん ほうげん 日本の方言	137
	参考译文	141

1

にほんご にちじょうひょうげん 日本語の日常表現



日语的日常表达方式

日语是由平假名、片假名、汉字组成的。在日常会话中有语义的变化，但表示否定“不”的意思时，有时却表现为肯定的意思。有时也有语言的短缩，或者省略等模棱两可的表达形式。记住这些用法是很有用处的。在日本人的会话中，有实话和客套话之分。但是客套话不能和实话相分离，这是因为说实话到说客套话之间是有一定的距离的。说客套话时，是一种小心谨慎的表现；而说实话时，是因为双方已经达到很亲近的程度了。另外，如果要谢绝对方，应该用婉转的语言来表达。否则，就是对对方不礼貌的表现。因此，说话时要考虑对方的情绪，不要说伤害对方的话。

だいいつしやう ちだん つか おぼ べんり にほんごひょうげん かんが
第一章では、普段よく使われる、覚えておくと便利な日本語表現について考
えてみましょう。

一、日本語の表記 にほんごのひょうき

日本語は中国語とは系統がまったく違う言語ですが、日本語を表記する文字としては、中国で考案され5世紀ごろ日本に伝えられた漢字、およびそれから派生したひらがな（平仮名）とカタカナ（片仮名）が用いられています。表音文字のひらがなとカタカナは、11世紀ごろに考案され、現在は表意文字の漢字とともに使われています。これらは50音ですが、現在は「ゐ(ヰ)」「ゑ(ヱ)」などが使われなくな

• ひらがなの成りたち

安	以	宇	衣	於	加	幾	久	計	己
あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ
左	之	寸	世	曾	太	知	川	天	止
さ	し	す	せ	そ	た	ち	つ	て	と
奈	仁	奴	祿	乃	波	比	不	部	保
な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ
末	美	武	女	毛	也	由	与		
ま	み	む	め	も	や	ゆ	よ		
良	利	留	札	呂	和	為	惠	遠	牙
ら	り	る	れ	ろ	わ	ゐ	ゑ	を	ん

• カタカナの成りたち

阿	伊	宇	江	於	加	幾	久	介	己
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
散	之	須	世	曾	多	千	川	天	止
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
奈	二	奴	祿	乃	八	比	不	部	保
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
末	三	牟	女	毛	也	由	與		
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ		
良	利	流	札	呂	和	井	慧	乎	尔
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン

り、46音の文字が使われています。ひらがなは、漢字の草書体を簡略化して作られ（例：安→あ、以→い、加→か）、カタカナは漢字の一部や偏などから作られました（例：阿→ア、伊→イ、加→カ）。一般的な表記をするときは漢字とひらがなを用い、外来語、擬声語、擬態語などを表記するときはカタカナを用います。江戸時代までは、縦書きが中心でしたが、現在は横書きも併用されています。

二、日本語の漢字 にほんごのかんじ

現在、日本で用いられている漢字には、中国に起源をもつ漢字以外に、日本で考案された漢字もあります（「峠」「辻」「柁」「棹」「鱈」「鱒」など）。また、第二次世界大戦後に多くの漢字が日本独自に簡略化されたため、中国の簡体字や繁体字と異なるものが少なくありません。

また、語彙を発音する際には二つの読み方が使われています。一つは、中国語の発音に由来する音読みで、もう一つは日本固有の発音で読む訓読みです。現在、日本で使われている漢字は4万～5万字くらいですが、文部科学省は、義務教育、雑誌・新聞などでよく使われる漢字2136字を常用漢字に指定しています（2010年改正）。

三、「いいえ」

日本語の会話では、相手にきっぱりと断るのは失礼だと考え、相手の気持ちを考え

ながら話すことがよくあります。相手に対する配慮のため、時と場所によってニュアンスの違う否定表現を選んで使い、相手を気づかいます。

したがって、否定の‘NO’と解釈される「いいえ」にも、さまざまな意味があります。たとえば、

a 「日本語がお上手ですね」→「いいえ、まだまだです」

b 「たいへんよくできるお子さんですね」→「いいえ、うちの子はぜんぜん…」

c 「たいへん結構なものをありがとうございます」→「いいえ、つまらないもので…」

このように「いいえ」は「どういたしまして」「とんでもない」などの謙譲の意味で使われる場合があります。

四、変化した言葉 へんかしたことば

親しいもの同士の会話で使われる言葉には、さまざまな理由から音の変化が起こります。

「ところ → ところ」「けれども → けど」「すみません → すいません」「わたし → あたし」「このあいだ → こないだ」の場合は、短い形に変化したり、発音が変わったりします。

「どちら → どっち」「どこか → どっか」「とても → とっても」「よほど → よっぽど」「あまり → あんまり」「おなじ → おんなじ」の場合は「っ」や「ん」を含む形に変化しています。

また、単語の音節が略されて変化しているものもあります。

「いやだ → やだ」「それで → で」「まったく → ったく」「ところで → で」「こんにちは → ちは」「いらっしゃい → らっしゃい」などは語頭の音節が略されたもの、「ありがとう → ありがとう」「ほんとう → ほんと」「～だろう → ～だろ」などは語末の音節が略されたものです。



五、本音と建前 ほんねとたてまえ

日本人の会話には本音と建前があるといわれています。しかしながら、建前とは決して本音と切り離されたものではなく、本音と建前のあいだには一定の関係があります。建前とは相手を気づかっている表現です。たとえば、「遊びに来てください」「今度、食事をしましょう」という言葉は、あいさつ程度の軽い気持ちで使われているもので、

親しみ^{あraw}を表したものと考えるとよいと思います。本音と建前^{おも}の関係を理解^{りかい}することは、なかなかむずかしいですが、建前で使われる、やや過剰^{かじょう}な言葉は、決して悪気^{わるぎ}があつて使われているわけではありません。

六、短縮句と省略された表現 たんしゅくくつとしょうりやくされたひょうげん

日本語にあいまいな表現が多いといわれるのは、短縮句^{たんしゅくく}と省略^{しょうりやく}された表現が多いからです。

たとえば、a「こちらにどうぞ……」、b「今日はちょっと……」、c「入らないで」、d「やってみたら」、e「あの店^{みせ}はおいしいって」、f「合格^{ごうかく}したって？」などがそうです。これらの会話の意味は、a・dは何かを勧めるとき^{すす}の表現、bは断るとき^{ことわ}の表現、cは禁止^{きんし}するときの表現、eは他人^{たにん}から聞いたことをいうときの表現、fは問い返^{とがえ}したり、説明^{せつめい}を求めるとき^{もと}の表現です。

とくに、家族^{かぞく}や友だち^{とも}との会話では短縮句がたくさん使われます。このように日本語の会話では、短縮句と省略された表現がしばしば使われます。

【コラム】

敬語^{けいご}表現は日本語学習者にはむずかしいといわれますが、それほどむずかしく考える必要^{かんが}はありません。一般的^{ひつよう}には、目上^{いっばんてき}の人、あまり親しくない人^{めうえ}に対しては、「です」「ます^{たい}」体^{たい}を使えばよいとされます。以下に、主な敬語^いをまとめましたので、参考^{おも}にしてください。

基本語 ^{きほんご}	尊敬語 ^{そんけいご}	謙讓語 ^{けんじやうご}
する	なさる	いたす
くる	いらっしゃる おいでになる みえる、お見えになる、 おこしになる	まいる
行く	いらっしゃる おいでになる	まいる うかが 伺う
言う	おっしゃる	もう 申す、申しあげる
いる	いらっしゃる おいでになる	おる

基本語	尊敬語	謙譲語
訪ねる、訪問する	いらっしゃる	伺う、あがる
知っている	ご存じだ	存じている / おる 存じ上げている / おる
食べる、飲む	あがる、召し上がる	いただく
着る	召す、お召しになる	
聞く	(～が) お耳に入る	伺う、承る、拝聴する
会う		お目にかかる
見る	ご覧になる	拝見する
あげる	くださる	差し上げる
もらう	お受け取りになる	いただく、ちょうだいする、賜る
くれる	くださる	
わかる	ご理解いただく	承知する、かしこまる

【質問】

Q: 「日本」は「ニホン」または「ニッポン」のどちらで読むのが正しいのですか。

A: どちらも使います。1934年の文部省臨時国語調査会が「ニッポン」に統一することを決議しましたが、政府採択はされず、現在に至っています。なお、2004年に国立国語研究所が「日本語話し言葉コーパス」を利用して行った調査によると、「ニホン」97.6%、「ニッポン」2.4%となり、話し言葉のなかでは圧倒的に「ニホン」が多く使われているようです。

Q: 電話に出るとき、切るときは、どのように話したらいいですか。

A: 出るときは、相手が誰かわからないので、「もしもし、～でございます(～です)」「はい、～でございます(～です)」を用います。最近は携帯電話を利用する機会が多く、誰が出るのかわかっているため、「もしもし」「はい」だけで応える場合も多くなっています。切るときは、「では、失礼いたします」「ごめんください」などを用いますが、親しい間柄の場合は「じゃあ」「また」などが使われます。

2

せい かつ じ じょう 生活事情



生活状況

日本の生活方式随着时代的变迁而变化。日本有这样的传统习俗，就是房间里有榻榻米、隔门、拉窗等。很早以前就有一进房门就脱鞋的习惯。近年来，随着西方文化的渗入，日本的住房面积以平方米来计算，还有一种就是日本固有的“帖”“坪”的计算方法。把厨房叫作K，餐厅叫作D，会客室叫作L。在日本还有百货公司、超市、专卖店、便利店等。随着季节、时间的变化，价格也不一样。日本的物价和国外相比要贵得多，除一些商品外，一般都要加5%的消费税。另外，生活垃圾的收集时间、方法等也是随着各区、町的不同而不同。

にほんじん せいかつようしき じだい おお へんか どうじ じゅうたく
日本人の生活様式は時代とともに大きく変化し、それと同時に住宅様式も変化してきました。

一、住宅 じゅうたく

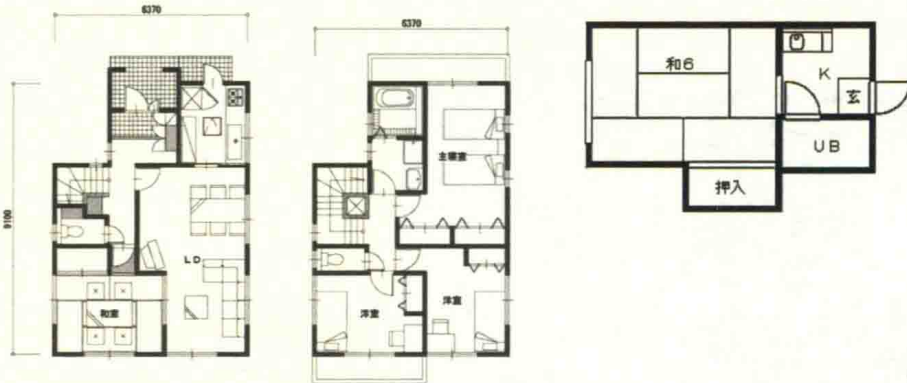
1. 「帖」と「坪」

住宅面積の表示には「㎡」や「帖」「坪」が使われます。1帖は畳1枚のことで東京間の場合、182 cm × 91 cmです（その他に江戸間、京間などがあります）。1坪は182 cm × 182 cmで畳2枚分の広さです。部屋には和室と洋室があり、和室は畳敷、洋

室はフローリングかカーペット敷です。畳とは、わら（稲などの茎を乾燥させたもの）を糸で編んで、厚さ約5.5 cmのマット状にし、い草を編んだものをかぶせた日本の伝統的な敷物です。

2. 間取り

住宅の規模を示すため、DK、LDKなどが用いられます。Kはキッチン（台所）、Dはダイニングルーム（食堂）、Lはリビングルーム（居間）を表します。DKはダイニングとキッチンを兼備した部屋を、LDKはダイニングとキッチンのほかにリビングルームとしての機能をもつ部屋を表します。2DKというのは、ダイニングとキッチンを兼備した部屋のほかに、部屋が2つある住居のことです。UBは、浴槽とトイレが一体になっているユニットバスのことで、別々に設置されていることをセパレートといいます。



3. 住宅に関する慣習・システム

(1) 靴

日本の家屋は玄関から廊下に入るところで一段高くなっており、そこで靴を脱いで家のなかにあがります。脱いだ靴は、つま先を入り口側に向けてそろえておくのが一般的な礼儀です。日本人は床の上に直接座ったり、布団を敷いて休んだりするので、土足のまま家にあがることは厳禁です。

(2) 浴室

日本人にとって、入浴とは身体をきれいにするだけでなく、お湯につかって疲れをとるリラクゼーションでもあります。日本の一般的な浴室はトイレと分かれており、浴槽と身体を洗う洗い場が付いています。家族で住んでいる場合、同じお湯に複数の人が入ります。そのため、浴槽のお湯をきれいなままにしておかなければならず、お湯に入る前には洗い場で身体を洗ってから浴槽に入ります。最近では、浴槽にお湯を充たしてそのなかで身体を洗う西洋式のお風呂や、ユニットバスも増えています。また、若者や一人暮らしをして



また、若者や一人暮らしをして

いる人を中心^{ちゅうしん}に、お湯にはつからずシャワーで済^すませるといった人も増えてきています。

(3) トイレ (便所^{べんじょ})

日本のトイレには和式と洋式の二種類^{にしゅるい}があります。近年^{きんねん}の家庭ではほとんどが洋式になっており、公共^{こうきょう}のトイレでも洋式が増えてい^{おん}ます。また、温水洗^{すいせん}浄便座^{じょうべんざ}を使う家庭が増えてい^{おん}ます。日本の公衆^{こうしゅう}トイレで順番^{じゅんばん}を待つ際^{さい}には一列^{いちれつ}に並び、空いた所^{あところ}から入^いっていくのが習慣^{しゅうかん}となっています。



▲和式トイレ



▲洋式トイレ



▲ふすま (右側) と障子

(4) ふすまと障子^{しょうじ}

ふすまは、木^き枠^{わく}に芯^{しん}を入れてその上^{うへ}にふすま紙^{がみ}を貼^はったものです。主^{おも}に部屋^{へや}と部屋^{へや}を仕切^{しき}ったり、部屋^{へや}と押入^{おしい}れを仕切^{しき}るために使^{つか}われます。ふすまを外^{はず}して部屋^{へや}をつなげ、部屋^{へや}を広く^{ひろ}することもできます。障子^{しょうじ}は、木^き枠^{わく}を格子^{こうし}状^{じょう} (縦横^{たてよこ}に組^くんだもの) に作り、障子紙^{わし}という和紙^{わし}を専用^{せんよう}の

糊^{のり}で貼^はったものです。部屋^{へや}と廊下^{ろうか}などを仕切^{しき}るために使^{つか}われます。

(5) 押入れ

和室^{わしつ}にある押入れ^{おしいれ}には、布団^{ふとん}や普段^{ふだん}使用^{しゅうりょう}しないものを収納^{しゅうりょう}します。また、「衣替^{ころもか}え」といって、季節^{きせつ}ごとに着^きる服^{ふく}と着^かない服^{ふく}を入れ替^かえます。

(6) 冷暖房器具^{れいだんぼうきぐ}

暖房器具^{だんぱうきぐ}は火鉢^{ひばち}や囲炉裏^{いろり}といった手^てをかざして直接^{あた}体を暖^{あた}めるものから、エアコンやファンヒーターなど電^{でん}気^きや灯油^{とうゆ}を使^{つか}って室内^{しつない}の空^{くう}気^きを暖^{あた}めるものへと変化^{へんか}していきま^いきました。冷房器具^{れいぱうきぐ}としては扇風機^{せんふうき}やエアコンを使^{つか}用^{よう}している家庭^{かてい}がほとん^おどです。

4. 現代日本の住宅状況^{げんだい じゅうたくじょうきょう}

日本の世帯数^{せたいすう}は全国^{ぜんこく}で約 51,950,504 世帯^{せたい}です。そのうち、個人^{こじん}が所有^{しゅりゅう}している持ち家^{もちか}が 31,594,379 世帯^{せたい}、家賃^{やちん}を払^{はら}って借^かりる借家^{しゅくや}が 17,441,403 世帯^{せたい}あります (2010 年^{ねん}度^ど 総務省^{そうむしょう}『国勢調査報告^{こくせいちょうさほうこく}』)。日本^{にっぽん}は国土^{こくど}の可住^{かじゅう}地面積^{ぢめんせき}に比べて人口^{じんこう}が多^{おほ}く、土地^{とち}の値段^{ねだん}が高^{たか}いので、家賃^{やちん}や広さ^{ひろさ}といった点^{てん}において住宅事情^{てんじくじょう}は決^{けつ}してよいとはい^いえませ^せん。都^と

心部においては土地の値段が特に高いため、標準的な住宅は狭く、分譲マンションなどが多くなっています。

二、買い物 かいもの

1. 店の種類

デパート（百貨店）は全国に約228店舗あります（2012年度総務省「経済センサスー活動調査」）。食料品や日用品から宝石までさまざまな品物を売っています。外国語がわかる店員もいて、サービスはよく、包装が丁寧なため、贈り物をする際に利用する人が多いようです。スーパーマーケット（スーパー）は全国に約36,174店舗あり（2012年度総務省「経済センサスー活動調査」）、家具や電化製品を売っている大きなスーパーマーケットもあります。特定商品だけを売っている専門店、日用品から高級品を売る店までさまざまです。食料品だけでも、八百屋、魚屋、肉屋などに細かく分かれていています。専門店がたくさん集まっている商店街は比較的価格も安く、買い物に便利です。コンビニエンス・ストア（コンビニ）はほとんどが24時間営業しており、特に一人暮

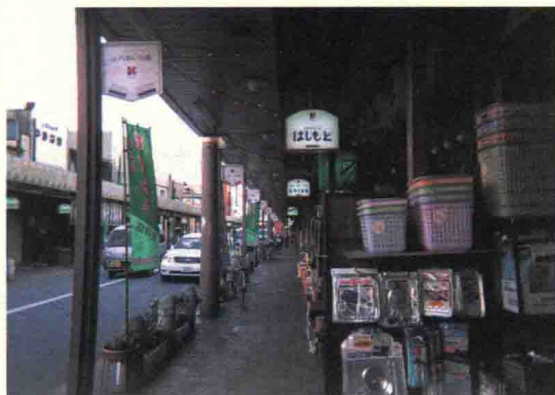
らしをしている学生や会社員が多く利用しています。また、100円均一ショップも多く見られます。店のなかのものは大部分100円で買うことができ、食品や雑貨などさまざまなものが売られています。

2. 季節や時間で変わる値段

日本には四季があります。夏は蒸し暑く、冬は寒いので、季節によって服装や必要なものが違います。季節のはじめは定価で売られていた物も、季節のなかごろになると「大売り出し」や「バーゲン・セール」がはじまって値段が下がります。また、魚や野菜といった食品は旬（食べごろの時期）があり、旬ではない時期に比べ多少値段が下がります。魚や肉、惣菜などの長持ちしない食品は、スーパーなどで閉店の時間が近づくと値段が下がることもあります。

3. 日本の物価

日本の物価水準は、他国に比べてかなり高いです。たとえばガソリンスタンドで、数人がかりで接客するような過剰なサービスがコストを押し上げる原因の一つといわれています。そのため、近年ではセルフサービスのガソリンスタンドが増えてきています。



主要国の価格水準指数 (2011年：全178カ国 世界銀行調べ)

順位	国名	価格水準指数 (世界=100)
1	スイス	209.6
2	ノルウェー	206.4
4	オーストラリア	201.0
5	デンマーク	185.0
7	日本	173.6
10	カナダ	161.9
11	フランス	151.4
19	イギリス	144.2
22	ドイツ	139.6
24	イタリア	137.7
26	アメリカ	129.0
36	韓国	99.4
76	ロシア	76.2
93	中国	70.0

総務省統計局 website「世界と比べた日本の物価水準」2015.6.30 <http://www.stat.go.jp>

小売価格による物価比較 (2015年9月)

	日本	韓国	中国 (北京)	中国 (上海)	アメリカ
卵 1 個	25 円	33 円	9 円	31 円	36 円
牛乳 1 l	229 円	287 円	263 円	340 円	144 円
ビール (350ml)	189 円	150 円	49 円	74 円	132 円
バス (初乗り)	210 円	130 円	39 円	39 円	216 円
タクシー (初乗り)	730 円	338 円	255 円	274 円	359 円
ガソリン 1 l	137 円	150 円	131 円	—	96 円

(財)国際金融情報センター website「各国の物価水準(日本の物価との比較)」 <http://www.jcif.or.jp> をもとに作成

4. 消費税の導入

日本政府は税金に関する不公平感をなくし高齢化社会を乗り切るために、1989年4月から大型間接税である消費税を導入しました。2016年、一部の例外を除いて、物の買いやサービスなどの取引に8%の割合で課税されていますが、2019年10月より、一部の品目を除いて10%への引き上げとなるようです。また、2004年4月から内税表示といって、税を含んでの価格表示が義務付けられるようになりましたが、段階的な税率

上昇を見越して、現在は外税表示となっています。

5. 家電製品に見る消費の動向

家電製品の価格は下落傾向にあります。2011年7月からの地上波デジタル放送への完全移行や、ブロードバンドの普及、デジタル技術の進展を背景に、パソコンなどの情報家電や高機能・多機能製品、ネットワーク化した製品が従来の家電の枠を越えて広がりを見せています。たとえば、多機能なスマートフォンの普及により、カメラやビデオカメラなどの単機能製品は減少傾向にあります。また、個人で利用するパーソナル商品が増加傾向にあり、インターネットやテレビなどの通信販売の利用が拡大しています。

家電製品の所有数量・普及率

品目	所有数量	普及率	品目	所有数量	普及率
テレビ	1,913	96.9	温水洗浄便座	736	64.1
DVD・ブルーレイ	1,041	72.4	電子レンジ	1,017	96.1
パソコン(デスクトップ型)	408	34.0	自動炊飯器	924	85.7
パソコン(ノート型(モバイル・ネットブックを含む))	741	55.2	電気冷蔵庫	1,168	98.1
タブレット端末	223	18.7	食器洗い機	249	24.7
カメラ	1,171	74.4	電気掃除機	1,328	95.9
ビデオカメラ	345	32.0	電気洗濯機	1,035	97.7
スマートフォン	867	50.2	ルームエアコン	2,376	86.4
携帯電話・PHS	1,011	67.4	空気清浄機	472	36.6

*所有数量は1000世帯あたりの数値
総務省統計局 website「全国消費実態調査」2014年度をもとに作成 <http://www.stat.go.jp>

6. ごみ

毎年増加しつづけていたごみの排出量は、2000年4月に容器リサイクル法(容器包装に係る分別収集および再商品化の促進に関する法律)が完全施行されたこともあり、2004年度からは徐々に減少していますが、それでも年間4,500万t以上のごみが排出されています。ごみ収集の方法や時間帯は市町村によって異なります。環境のために再利用できる空き缶やペットボトル、新聞紙、発泡スチロール、牛乳パック、プラスチック容器はスーパーなどで回収しています。市町村と住民団体によるリサイクル率(再利用のための回収率)は20.6%(2013年度)であり、年々上昇しているものの依然低いレベルにあります。